

1979年

- Arai, K., H. Onozato, and F. Yamazaki (1979): Artificial androgenesis induced with gamma irradiation in masu salmon, *Oncorhynchus masou*. (サクラマスへのガンマ線照射により誘起される人為的雄性発生). 日本水産学会誌, 30(3): 181-186. (英文).
- 日高敏隆・前田憲彦 (1979): パー・マーク(Parr Mark)の意味. 淡水魚, (5): 55-59.
- 細谷久信・関 泰夫 (1979): マス類のせっそう病に関する研究-III ヤマメにおける経口及び浸漬ワクチンの効果について. 新潟県内水試研報, (7): 59-62.
- 石田昭夫・佐々木正吾・佐藤行孝 (1979): 人工ふ化サクラマス稚魚の河川放流に関する研究-7 報, 放流時刻および先住者が定着に及ぼす影響. さけ・ますふ化場研報, (33): 1-6.
- 小島 博・杉若圭一 (1979): 厚田川におけるサクラマス幼魚の成長と生息密度および現存量の季節変化. 道立水産孵化場研報, (34): 7-16.
- 久保達郎 (1979): 海洋生活期のサクラマス. 水産海洋研究会報, (34): 79-80.
- 久保達郎 (1979): サクラマス幼魚(スモルト)の標識放流試験の結果の概要について. さけとます, 20(35): 52-54.
- 熊崎 博・本荘鉄夫・立川 互 (1979): ヤマメとアマゴの交雑について-II. F2 および退交雑種の形質. 岐阜水産試験場研報, 24: 25-32. #4063
- Maeda, N. and T. Hidaka (1979): Ethological function of the parr marks in a Japanese trout, *Oncorhynchus masou* f. *ishikawai*. (ヤマメにおけるパーマークの行動生物学的機能). *Zool. Mag.*, 88: 34-42. (英文)
- Nishikawa, K., T. Hirashima, S. Suzuki, and M. Suzuki (1979): Changes in circulating L-thyroxine and L-triiodothyronine of the masu salmon, *Oncorhynchus masou* accompanying the smoltification, measured by radioimmunoassay. *Endocrinol. Japan*, 26(6): 731-735. (英文)
- 関 泰夫・金子文与 (1979): サクラマスの増殖に関する研究-1 魚野川を流下する銀毛化幼魚について. 新潟県内水試調査研報, (7): 17-25.
- 杉若圭一・小島 博 (1979): 厚田川における降海型サクラマス幼魚に関する研究. 1978年降海群の年齢と生態. 道立水産孵化場研報, (34): 25-39.

1978年

- 粟倉輝彦 (1978): 北海道における細菌性腎臓病の発生と産卵親魚の保菌について(追加発言). 魚病研究, 13(1): 53-54.
- 加藤文男 (1978): 降海アマゴの鱗相について. 魚類学雑誌, 25(1): 51-57.
- 木村喬久 (1978): サケ科魚類の細菌性腎臓病. 魚病研究, 13(1): 43-52.
- 待鳥清治・岡崎登志夫・伊藤外夫・小笠原淳六 (1978): 北西太平洋の沖合水域で確認されたサクラマス (*Oncorhynchus masou*). 遠洋水研研報, (16): 1-7.
- 丸山 隆 (1978): イワナとヤマメの自然交雑. 淡水魚, (4): 154-157.
- 増尾 徹 (1978): 屋久島安房川の放流ヤマメ調査報告. 淡水魚, (4): 165-169.

- Ogawa, K. and S. Egusa (1978): Two new species of the genus *Tetraonchus* (Monogenea: Tetraonchidae) from cultured *Oncorhynchus masou*. (養殖ヤマメから得られた *Tetraonchus* 属(単生類)の新たな 2 種). 日本水産学会誌, 44(4): 305-312. (英文)
- 大渡 齊・田中深貴男・鈴木 栄 (1978): ヤマメの酸素消費量について. 埼玉県水試研報, (37): 63-69.
- 関 泰夫 (1978): 奥只見湖で再捕されたヤマメ(*Oncorhynchus masou* Brevoort)とその由来について. 新潟内水試研報, (6): 11-15.
- 高越哲男・成田宏一・渡辺謙太郎・鈴木 馨 (1978): 溪流魚調査-II. 達沢川におけるヤマメの放流効果調査. 福島内水試研報, (1): 48-53.
- 宇藤 均 (1978): サクラマス産卵とヤマメの役割. 淡水魚, (4): 136-139.
- 若林 務・渋谷隆之・叶木彦治 (1978): 川俣湖におけるヤマメ, イワナの遊泳層と食性について -1975, 1976 年夏季の刺網漁獲結果より-. 栃木水試研報, (7): 33-45.
- Watanabe, T., N. Kobayashi, Y. Sato, and Y. Ishizaki (1978): Continuous cell line derived from the kidney of yamame, *Oncorhynchus masou*. (ヤマメ腎由来細胞株について). 日本水産学会誌, 44(5): 415-418. (英文)

1977 年

- 橋本 進・石田昭夫 (1977): 河川におけるサクラマスの幼魚の摂餌について. さけ・ますふ化場研報, (31): 13-20.
- 伊藤靖志・中江三郎・相原光雄 (1977): サクラマス(*Oncorhynchus masou*)の池中養成試験. 山形淡水指事業報告 (昭和 48, 49 年度): 13-17.
- Ivankob, V.N., Padetskii, S.N., and Chikina, V.S. (1977): 産卵期後のサクラマス *Oncorhynchus masu* (Brevoort) の幼形成熟雄性個体について. (日本語訳; さけ・ます関係海外文献集(1): 307-317, 農林水産技術会議)
- 加藤憲司 (1977): 多摩川上流で採集されたサケ科魚類の自然雑種. 魚類学雑誌, 23(4): 225-232.
- 河村 博・粟倉輝彦・渡辺克彦・松本春義 (1977): 細菌性腎臓病に対するエリスロマイシンの治療効果並びにサケ科魚類 4 種の感受性について. 道立水産孵化場研報, (32): 21-35.
- 木村喬久・粟倉輝彦 (1977): わが国で初めて見出された養殖サケ科魚類の細菌性腎臓病 (Bacterial Kidney Disease) について. 日本水産学会誌, 43(2): 143-150.
- 久保達郎 (1977): 杉の子およびサケマス類の陸封について. 淡水魚, (3): 100-107.
- 丸山 隆 (1977): イワナとヤマメの分布域はどのようにして決まるのか? 淡水魚, (3): 113-117.
- 関 泰夫・小島将男 (1977): 吾妻川起源のヤマメの銀毛化変態と成熟に関する研究. 水産増殖, 24(2): 50-55.
- 宇藤 均 (1977): サクラマス *Oncorhynchus masou* Brevoort の降海型と河川残留型の分化機構に関する研究
2. 早熟な河川残留型の体生長と性成熟 (その 2). 北大水産彙報, 28(2): 66-73.
- Yamane, S. and J. Yamada (1977): Histological changes of the ultimobranchial gland through the life history of the masu salmon. (サクラマスの生活史にともなう鰓後腺組織の変化). 日本水産学会誌, 43(4): 375-386. (英文)

1976 年

- 新井正尚・大塚博正・小林 茂 (1976): ヤマメ増殖 - XI 電照によるヤマメの成熟抑制について. 群馬水試報告,

(24): 1-5.

- 粟倉輝彦 (1976): サケ科魚類における主要疾病の診断と対策. 北海道獣医師会雑誌, 20(7), 9p.
- 今田和史・阿刀田光紹 (1976): 魚類の脊椎骨異常 II 池中養殖サクラマスの短軀症(寸づまり). 道立水産孵化場研報, (31): 23-41.
- 川那部浩哉 (1976): サクラマス群の学名について(雑談). 淡水魚, (2): 58-62.
- 小林哲夫 (1976): 北海道におけるサケ・マスの増殖. 新版つくる漁業(水産庁監修): 444-455. 農林統計協会.
- 久保達郎 (1976): サクラマス幼魚の河川生活期における移動習性. 生理生態, 17(1,2): 411-417.
- 久保達郎 (1976): サケ科魚類放流の問題点. 淡水魚, (2): 18-21.
- 太田 亨 (1976): サクラマスの脂質-IV. 海水生活初期におけるサクラマス幼魚筋肉脂質の脂質組成と脂肪酸組成の変動. 北大水産彙報, 27(2): 30-36.
- 斉藤裕也 (1976): サクラマスに認められた黄化現象について. 淡水魚, (2): 144-145.
- 関 泰夫 (1976): ヤマメの放流効果試験. 新潟内水試調査研報, (4): 23-25.
- 寺尾俊郎・岡田鳳二・伊藤小四郎・米川年三・田中寿雄 (1976): サクラマスの蓄養中の体筋肉, 肝臓及び血清中の生化学組成変化について. 道立水産孵化場研報, (31): 1-21.
- 徳井利信 (1976): 水生生物の移殖あれこれ. 淡水魚, (2): 63-67.
- 宇藤 均 (1976): サクラマス *Oncorhynchus masou* Brevoort の降海型と河川残留型の分化機構に関する研究
1. 早熟な河川残留型の体生長と性成熟. 北大水産彙報, 26(4): 321-326.
- 吉水 守・神山和義・木村喬久・坂井 稔 (1976): サケ科魚類の腸内細菌叢に関する研究-IV. 河川および湖沼棲息魚の腸内細菌叢. 日本水産学会誌, 42(11): 1281-1290.
- 吉水 守・木村喬久・坂井 稔 (1976): サケ科魚類の腸内細菌叢に関する研究-I. 飼育魚の腸内細菌数と細菌叢. 日本水産学会誌, 42(1): 91-99.
- 吉水 守・木村喬久・坂井 稔 (1976): サケ科魚類の腸内細菌叢に関する研究-II. 人為的海水移行および餌止め飼育の腸内細菌叢におよぼす影響. 日本水産学会誌, 42(8): 863-873.
- 吉水 守・木村喬久・坂井 稔 (1976): サケ科魚類の腸内細菌叢に関する研究-V. 溯河魚の腸内細菌叢. 日本水産学会誌, 42(11): 1291-1298.
- 鈴木 亮 (1976): 交雑実験からみた魚類の移殖放流. 海洋科学, 8: 458-463.

1975 年

- Churikov, A. A. (チュリコフ, A. A.) (1975): サハリン北東沿岸河川のサケ属幼魚の降河の特性. (日本語訳: さけ・ます関係海外文献集(1): 131-143, 農林水産技術会議)
- JIBP-PF research group of the Yurappo River. (1975): Productivity of biotic communities in the Yurappo River. Productivity of communities in Japanese inland waters. JIBP synthesis, Vol.10: 287-238. (英文) #4278
- 木村英造 (1975): 屋久島河川へのヤマメ放流事業について. 淡水魚, (1): 124.
- Mighell, J. L. and J. R. Dangel (1975): Hatching survival of hybrids of *Oncorhynchus masou* with *Salmo gairdneri* and

with North American species of *Oncorhynchus*. (サクラマスとニジマスおよび北米産サケ属魚類との交雑魚のふ化時の生存性). *Fishery Bulliten*, 73(2): 447-449. (英文)

茂木 博・本莊鉄夫 (1975): 在来マス類の育種に関する研究-I ヤマメ及びアマゴの産地別飼育成績について. 岐阜県水試研報, 20: 39-54.

茂木 博・本莊鉄夫・立川 互 (1975): ヤマメとアマゴの交雑について-I. 交雑種 F1 の形質. 岐阜水産試験場研報, 20: 55-60. #4062

太田 亨・山田 実 (1975): 淡水魚 4 種の脂質の脂肪酸. 北大水産彙報, 26(3): 277-288.

島崎健二 (1975): オホーツク海におけるサクラマスの分布及び生物学的組成. 水産海洋研究会報, (27): 104-110.

Smirnov, A.I. (スミルノフ, A.I.) (1975): サクラマスの生物学(主として生殖と生長). (日本語訳; さけとます, (35): 40-48)

山口勝巳 (1975): ヘモグロビンの泳動像からみたサケ・マス類の分類. 水産学シリーズ 9, 魚類種族の生化学的判別, 80-93, 日本水産学会.

1974 年

阿刀田光紹 (1974): 池中養殖サクラマスの生態に関する知見 I. 種苗の初期生残率, 性比, 0 年魚の分化及び親魚の孕卵数について. 道立水産孵化場研報, (29): 97-113.

粟倉輝彦 (1974): サケ科魚類の微胞子虫病に関する研究. 道立水産孵化場研報., (29): 1-95.

Julikov, A.I. (ジウリコフ, A.I.) (1974): サクラマス *Oncorhynchus masu* (Brevoort) 及びギンザケ *O. kisutch* (Walbaum) の smolt の一昼夜の摂餌リズムについて. (日本語訳; さけ・ます関係海外文献集(2): 10-18, 農林水産技術会議)

久保達郎 (1974): サクラマス幼魚の相分化と変態の様相. さけ・ますふ化場研報, (28): 9-26.

太田 亨・山田 実 (1974): サクラマスの脂質-II 河川で生活するサクラマス幼魚の筋肉脂質の季節変動. 日本水産学会誌, 40(7): 699-706.

太田 亨・山田 実 (1974): サクラマスの脂質-III 降海時期における河川残留型および降海型サクラマス幼魚の筋肉組成の相異. 日本水産学会誌, 40(7): 707-713.

佐野典達 (1974): 活魚(試料ヤマメ)の超音波反射について. 日本水産学会誌, 40(12): 1203-1211. (英文)

1973 年

阿刀田光紹 (1973): 池中養成ヤマメの成熟について. 魚と水, (8): 1-10.

粟倉輝彦 (1973): ヤマメの胃拡張症. 魚と水, (9): 11-13.

Gritsenko, O.F. (グリツェンコ, O.F.) (1973): 北サハリンのサクラマスとギンザケの生物学. (日本語訳; さけ・ます関係海外文献集(2): 242-277, 農林水産技術会議)

石田昭夫・大端 孝・石城謙吉・佐々木喜一・前川光司 (1973): 人工ふ化サクラマス稚魚の河川放流に関する研究-5 報 天塩川支流パンケナイ川における分散と定着についての観察-1972 年の結果. さけ・ますふ化場研報, (27): 11-16.

石田昭夫・田中哲彦・幸内憲六・薫田道雄 (1973): 人工ふ化サクラマス稚魚の河川放流に関する研究-4 報 目名川とその支流における分散と定着についての観察 -1971~1972 年の結果-. さけ・ますふ化場研報, (27):

1-10.

JPF ユーラップ川研究グループ(1973): ユーラップ川の生物群集の生産力に関する研究. 49pp. 辻孔版社, 札幌.
#4789

加藤 守 (1973): サクラマス鱗による年齢査定. -とくに淡水生活期間中の年齢区分基準について-. 日水研研報, (24): 53-66.

宮崎照雄 (1973): 陸封型サケ属魚類の上皮壊死と水カビ着生を特徴とする流行病に関する研究-I. 組織病理像. 魚病研究, 8(1): 48-54.

長澤有晃 (1973): 南米チリーへさくらまスの移殖. 魚と卵, (140): 7-24.

田中哲彦 (1973): 人工ふ化サクラマス稚魚の河川放流に関する研究-6 報 定着過程に関する水槽予察実験. さけ・ますふ化場研報, (27): 17-24.

寺尾俊郎・足田豊彦 (1973): 支笏湖で採取されたサケ科魚類の大型魚について. 道立水産孵化場研報, (28): 77-89.

外崎 久 (1973): 岩尾内人工湖の概要とワカサギ, ヤマベの放流効果. 魚と水, (9): 1-9.

山崎文雄・粟倉輝彦・阿刀田光紹・棚田昭二 (1973): メチルテストステロンによるヤマベの銀毛防止と皮膚抵抗について. 道立水産孵化場研報, (28): 1-10.

米田 勤・石原義雄 (1973): シロザケ (*Oncorhynchus keta*) 及びサクラマス (*Oncorhynchus masou*) の血清蛋白ディスク電気泳動像. 北大水産彙報, 24(2): 76-89.

Yoshiyasu, K. (1973): Starch-gel electrophoresis of hemoglobins of freshwater salmonid fishes in northeast Japan. (南東部日本に分布する河川・湖沼型サケ科魚類ヘモグロビンの澱粉ゲル電気泳動的な研究) 日本水産学会誌, 39(4): 449-459. (英文)

Yoshiyasu, K. (1973): Starch-gel electrophoresis of hemoglobins of freshwater salmonid fishes in southwest Japan - II. Genus *Oncorhynchus* (*Salmon*). (南西部日本に分布する河川・湖沼型サケ科魚類ヘモグロビンの澱粉ゲル電気泳動的な研究-II. サケ属魚類). 日本水産学会誌, 39(1): 97-114. (英文)

1972 年

新井正尚・大塚博正・小林 茂 (1972): ヤマメ増殖-VIII 2 年魚における初産魚と経産魚の親魚としての適性. 群馬水試報告, (21): 20-24.

粟倉輝彦 (1972): *Acanthocephalus minor* Yamaguti, 1935 の寄生によるサケ科魚類の鉤頭虫症について. 道立水産孵化場研報, (27): 1-12.

粟倉輝彦・木村喬久 (1972): 池中養殖ヤマベに発生した胃拡張症について. 魚病研究, 6(2): 121-124.

Birman, I.B. (ビルマン, I.B.) (1972): シーマ (*Oncorhynchus masu* (Brevoort)) の幾つかの生物学的問題. (日本語訳: 魚と水, (11): 36-47)

林 征一 (1972): 魚皮の生化学的研究-IV. 皮膚組織中のグアニン, ヒポキサンチンへの ¹⁴C-ギ酸のとりこみとチロキシンによるその促進効果. 日本水産学会誌, 38(3): 279-290.

木村清朗 (1972): ヤマメの産卵習性について. 魚類学雑誌, 19(2): 111-119.

松川 洋・長原幸吉・石田昭夫・石城謙吉・稲垣和典 (1972): 人工ふ化サクラマス稚魚の河川放流に関する研究-

3 報 天塩川支流パンケナイ川における分散と定着についての観察. さけ・ますふ化場研報, (26): 1-9.

大池一臣・山田寿郎・小坂 惇 (1972): サクラマス雄魚の早熟残留型にみられる鱗吸収と関連細胞について. 日本水産学会誌, 38(5): 423-430.

1971 年

藤井 豊・山田充阿弥・大西登史良 (1971): 魚皮の銀色化に関する研究-I. 養殖サケ・マス類における皮のプリン塩基の消長. 日本水産学会誌, 37(1): 55-62.

Hayashi, S. (1971): Biochemical studies on the skin of fish - II. Seasonal change of purine content of masu salmon from parr to smolt. (魚類の皮膚に関する研究-II. サクラマス幼魚のスマルト化過程におけるプリン含量の時期的変化). 日本水産学会誌, 37(6): 508-512. (英文)

石田昭夫 (1971): やまべの話. 北方林業, 23(6): 26-28.

石田昭夫・小坂 惇・前川光司 (1971): 小川におけるサクラマス幼魚 *Oncorhynchus masou* の生態に関する一知見. 補遺. さけ・ますふ化場研報, (25): 29-34.

加藤 守 (1971): 海洋生活期におけるサクラマスの性比, 抱卵数および成熟. 日本海区水研研報, (23): 55-67.

小坂 惇 (1971): サクラマスの早熟な残留型の精巣組織の変化について. 東北水研研報, 31: 163-172.

久保達郎 (1971): ギンザケとサクラマスの戸籍改め. さけとます, (21): 17- 31.

桑田 治 (1971): サケ・マス河川造成の検討. さけとます, (21): 10-16,31-32.

松川 洋・石田昭夫・田中哲彦 (1971): 人工ふ化サクラマス稚魚の放流に関する研究-2 報, 目名川支流三之助沢川における分散と定着についての観察. さけ・ますふ化場研報, (25): 19-27.

太田 亨・山田 実 (1971): サクラマス *Oncorhynchus masou* の脂質 第1 報 変態時期におけるサクラマス幼魚の脂質含量および脂肪酸組成の変動とそれらにおよぼす光の影響について. 北大水産彙報, 22(2): 151-158.

島崎健二 (1971): カムチャツカ南西部に來遊するサクラマス (*Oncorhynchus masou*) の組成の特徴ならびに回遊について. 北大水産彙報, 22(1): 37-47.

Smirnov, A. I. (スミルノフ, ア. イ.) (1971): 移殖対象魚としての極東サケ・マス *Oncorhynchus* 属および *Salmo* 属 (*Salmo* 科). 動物学雑誌, 50(3) (ソ連北洋文獻集, 94: 139-169)

Suzuki, R. and Y. Fukuda (1971): Survival potential of F1 hybrids among salmonid fishes. (サケ科魚類における雑種 F1 の生残能力). 淡水研研報, 21(1): 69-83. (英文)

Suzuki, R. and Y. Fukuda (1971): Growth and survival of F1 hybrids among salmonid fishes. (サケ科魚類における雑種 F1 の成長と生残). 淡水研研報, 21(2): 117-138. (英文)

田中哲彦 (1971): 尻別川に放流したさくらます. 魚と卵, (135): 8-14.

田中哲彦・石田昭夫・松川 洋・石川嘉郎・薫田道雄 (1971): 人工ふ化サクラマス稚魚の放流に関する研究-1 報 目名川とその支川における分散と定着についての観察. さけ・ますふ化場研報, (25): 1-17.

1970 年

Christie, W. J. (1970): Introduction of the cherry salmon *Oncorhynchus masou* in Algonquin Park, Ontario. (カナダ国オンタリオ州の Algonquin 公園に移入されたサクラマス). *Copeia*, 1970 (2): 378-379. (英文)

- Fukataki, H. (1970): Further notes on migration of the masu salmon, *Oncorhynchus masou* (Brevoort), in the Japan Sea as determined by tagging. (再び標識放流試験結果からみた日本海におけるサクラマスの回遊について). 日本海区水研研報, (22): 1-14. (英文)
- Hiroi, O., and K. Yamamoto (1970): Studies on the maturation of salmonid fishes-II. Changes in the testis of the masu salmon, *Oncorhynchus masou*, during anadromous migration. (サケ科魚類の成熟に関する研究-II. サクラマスの産卵回遊時における生殖腺の変化). 北大水産彙報, 20(4): 252-264. (英文)
- 石田昭夫 (1970): サクラマスふ化放流事業の基礎となる生態的特性と必要な調査. さけとます, 19: 56-58.
- 加藤文男 (1970): 日野川にそ上するサクラマスについて. 福井県博物同好会会報, 17: 5-8.
- 加藤 守 (1970): サクラマス成魚の鱗による年齢査定上の問題点に関する 2, 3 の検討. 日水研研報, 22: 15-29.
- 久保達郎 (1970): 青森県における溪流魚(ヤマベ, サクラマス)の増殖診断. 日本水産資源保護協会月報, (73): 4-11.
- 寺尾俊郎 (1970): サケ属魚類, 特にサケおよびヒメマスの人工交雑と育種に関する研究. 道立水産孵化場研報, (25): 1-101.